



令和3年台風第9号に係る警戒連絡会議 鳥取地方気象台台風説明会

【日 時】令和3年8月8日(日)午前11時00分～

【場 所】災害対策本部室（県庁第2庁舎3階）

【参加者】知事、副知事、統轄監、危機管理局、農林水産部、

県土整備部

鳥取地方気象台

中国電力（株）

* 副知事、統轄監は別室にて参加

* 各総合事務所、市町村、消防局等には映像配信

1

目的・次第

目 的

- ◆ 令和3年台風第9号に関する情報の共有、市町村・県民への注意喚起及び警戒・即応体制の確保を図る。

次 第

- ◆ 知事挨拶
 - 1 最新の気象状況及び今後の予測等（鳥取気象台資料）
 - 2 市町村・県民への注意喚起等
 - （1）市町村への依頼事項
 - （2）県民への注意喚起等
 - 3 警戒・即応体制の確保等
 - （1）県の体制
 - （2）各部局等の対応
 - （3）中国電力(株)の対応

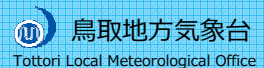
2

令和3年台風第9号に関する 台風説明会

令和3年8月8日11時
鳥取地方気象台

3

台風第9号による影響のポイント



①鳥取県への接近

台風は、9日昼前から昼過ぎ、鳥取県に最も接近。

②暴風

9日朝から夕方は、南寄りの暴風となる可能性がある。

③大雨

台風の流れ込む暖かく湿った空気の影響で、8日昼過ぎから9日夕方にかけて激しい雨が降るため、雨量が多くなり8日夜のはじめごろから警報級の大雨になる可能性がある。

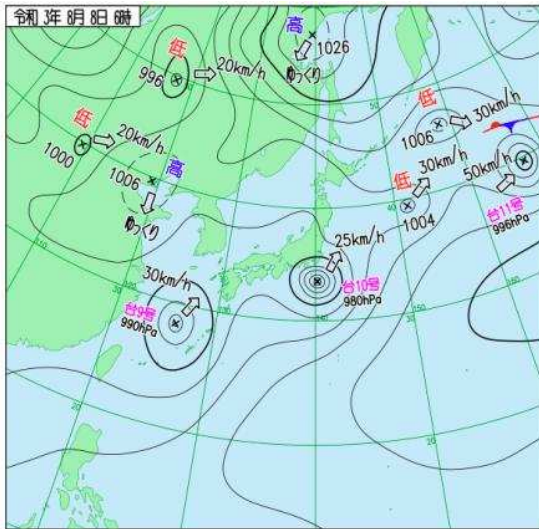
④高波・高潮

海上では、9日昼前からしけとなる見込み。
台風の接近時及び通過後、高潮に注意。

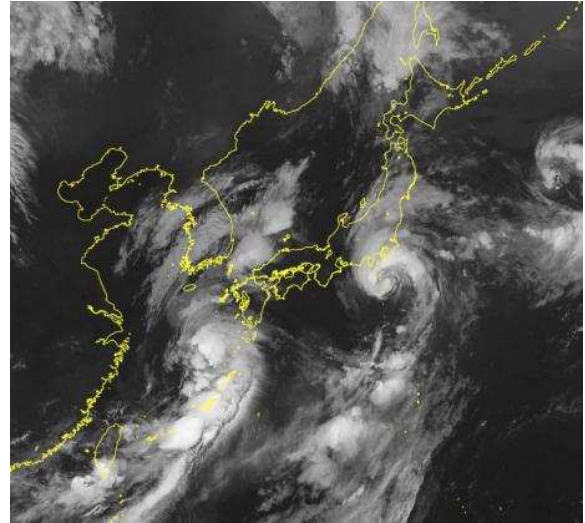
⑤竜巻・突風等

竜巻などの激しい突風、落雷にも注意。

4



地上天気図 8月8日06時



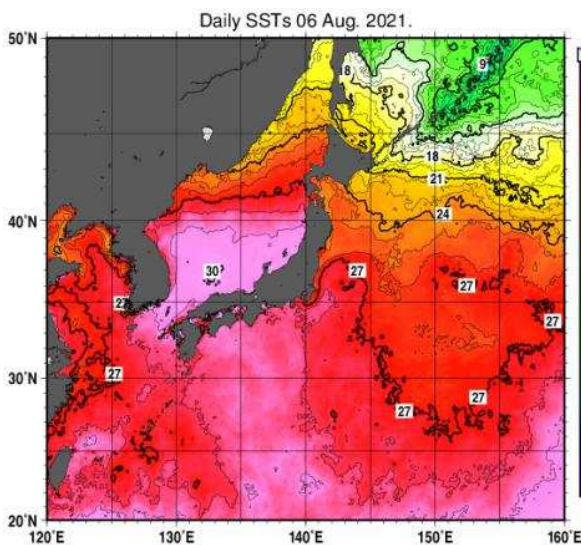
衛星赤外画像 8月8日06時

台風第9号の6日の進路予想では、大陸に上陸し8日に熱帯低気圧に変わる予想だったが、台風の勢力を保ったまま、東シナ海を北東へ進み、9日に鳥取県に接近する予想に変わった。

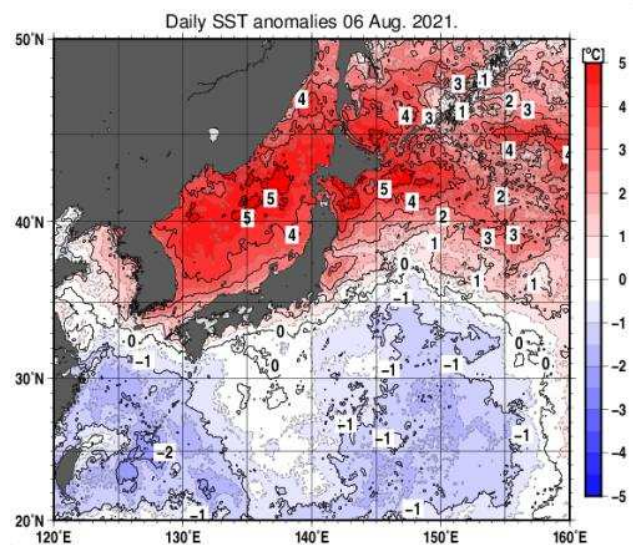
台風は現在、暴風域を伴っていない。台風の東側に活発な雨雲はある。

海面水温

8月6日



海面水温

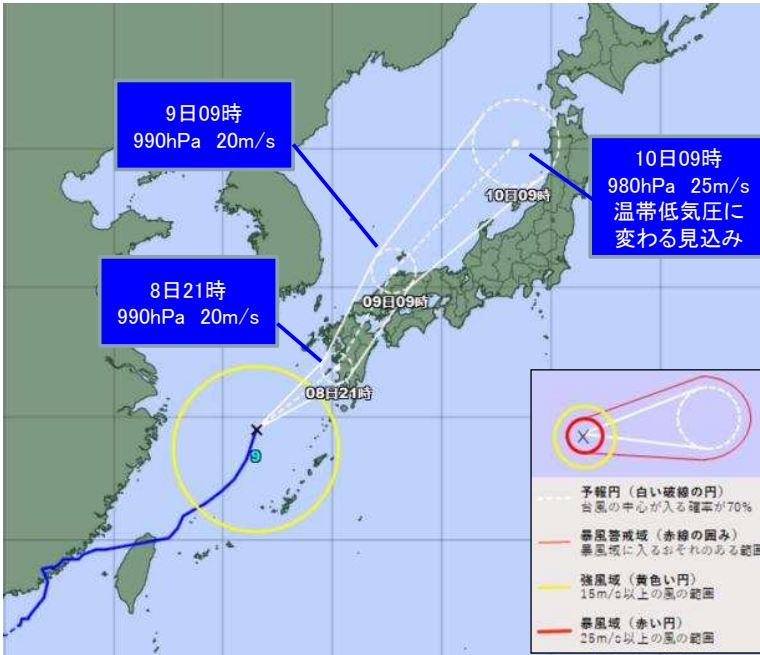


平年差

海面水温の高い領域(27°C以上)が九州の西から日本海まで広がっており、この領域を台風が進むため勢力が衰えにくい。

台風第9号進路予想

8月8日09時 現在



台風第9号(ルピート)
8月8日09時の実況

存在地域 奄美大島の西北西約320km
中心位置 北緯29度30分
東経126度30分
進行方向、速さ 北北東 30km/h
中心気圧 990hPa
中心付近の最大風速 20m/s
最大瞬間風速 30m/s
15m/s以上の強風域
南側 460km 北側 280km

台風は、東シナ海を北東へ進み、8日夜には九州に接近し上陸するおそれ。その後、日本海で温帯低気圧に変わるが、さらに発達する見込み

これらの情報は、気象庁ホームページからご覧いただけます

<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#5/33.726/133.462/&typhoon=TC2114&contents=typhoon&elem=root>

台風第9号の防災バーチャート (予報円の中心を通った場合の見通し)

8月8日09時 現在

 警報級の可能性[中]の期間

		8日					9日								
		9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	
		昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	未明	明け方	朝	昼前	昼過ぎ	夕方	夜の はじめ頃	夜遅く	
台風最接近															
大雨(浸水) (ミリ)	東部	0	30	30	30	30	40	40	40	30	30	30	20	20	
	中・西部	5	30	30	30	30	40	40	40	30	30	30	20	20	
大雨(土砂)	東部														
	中・西部														
暴風 (メートル)	東部	陸上	6 ↓	6 ↓	5 ↗	4 ←	4 ←	12 ↗	12 ↗	18 ↗	18 ←	18 ←	18 ←	12 ↗	12 ↑
		海上	7 ↗	7 ←	7 ←	7 ←	10 ↗	15 ↗	15 ←	20 ↗	20 ↑	20 ↗	20 ↗	18 ↗	18 ↗
	中・西部	陸上	6 ↓	6 ↗	5 ↗	4 ←	4 ←	12 ↑	12 ←	18 ↑	18 ↑	18 ↑	18 ↗	12 ↗	12 ↗
		海上	7 ↗	7 ←	7 ←	7 ←	10 ←	15 ←	15 ←	20 ↑	20 ↑	20 ↗	20 ↗	18 ↗	18 ↗
波浪 (メートル)	東部	1	1	1	1	1.5	1.5	2	3	4	5	5	4	4	
	中・西部	1	1	1	1	1.5	1.5	2	3	4	5	5	4	4	
高潮	東部	0.9	0.9	0.9	0.6	0.6	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9				
	中・西部	0.9	0.9	0.9	0.6	0.6	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9				

警報級 注意報級

8日12時～9日12時
東部 120ミリ
中・西部 120ミリ

9日12時～10日12時
東部 100～150ミリ
中・西部 100～150ミリ

境港の満潮時刻

8日13時35分、9日4時16分・14時22分、10日4時40分・15時09分

①暴風警報の可能性あり

9日朝から夕方は南風の暴風となる可能性がある。
強風域に入るタイミングは、9日未明から10日未明。

②大雨に十分注意

山地を中心に雨量が多くなる。警報級の可能性あり。
8日昼過ぎから9日夕方にかけて激しい雨が降るため、土砂災害、浸水害、河川の増水に十分注意。

③高波に十分注意

海上では、9日昼前からしけとなる見込み。

④高潮に注意

台風の接近時及び通過後も、高潮にも注意。

- ・高潮注意期間 8日昼前～夕方 9日未明～昼過ぎ
- ・境港の満潮時刻 8日13時35分、9日4時16分・14時22分、10日4時40分・15時09分

⑤竜巻・突風等

竜巻などの激しい突風、落雷にも注意。

9

台風の接近に備えて

- 気象台の発表する**警報・注意報など気象情報**に留意するとともに、**市町村の避難指示等**に注意してください。
- 大雨による土砂災害・洪水・低い土地の浸水など、自分のいる場所ではどのような災害が起こりやすいのかを予め確認し、雨や風が強まる前に**早め早めの安全確保**をお願いします。
- 屋外での作業や不要な外出等は控え、海岸や増水した河川・用水路など**危険な場所には絶対に近づかないよう**お願いします。
- 今後の台風の進み方によっては状況が変わってきますので、常に最新の情報を利用してください。

気象台が発表する今後の予想を含めた最新の情報をご利用ください。

○気象警報・注意報・土砂災害警戒情報

(大雨、洪水、暴風、波浪、高潮などによる、災害のおそれを警告・注意するとともに、警報級の可能性を伝える)
https://www.jma.go.jp/bosai/warning/#area_type=offices&area_code=310000&lang=ja

○気象情報(気象概況や大雨の見通し)

https://www.jma.go.jp/bosai/information/#area_type=offices&area_code=310000&format=table

○台風情報(台風の位置・強さ・速度などの解析・予報、大雨や暴風の見通し)

<https://www.jma.go.jp/jp/typh/>

○指定河川洪水予報(国や鳥取県の管理する主な河川の氾濫の危険度を予測)

<https://www.jma.go.jp/bosai/flood/>

○キキクル(土砂災害、浸水害、洪水害の危険度分布(メッシュ情報)を表示)

https://www.jma.go.jp/bosai/#area_type=offices&area_code=310000&pattern=rain_level

○その他の情報は気象庁ホームページをご覧ください

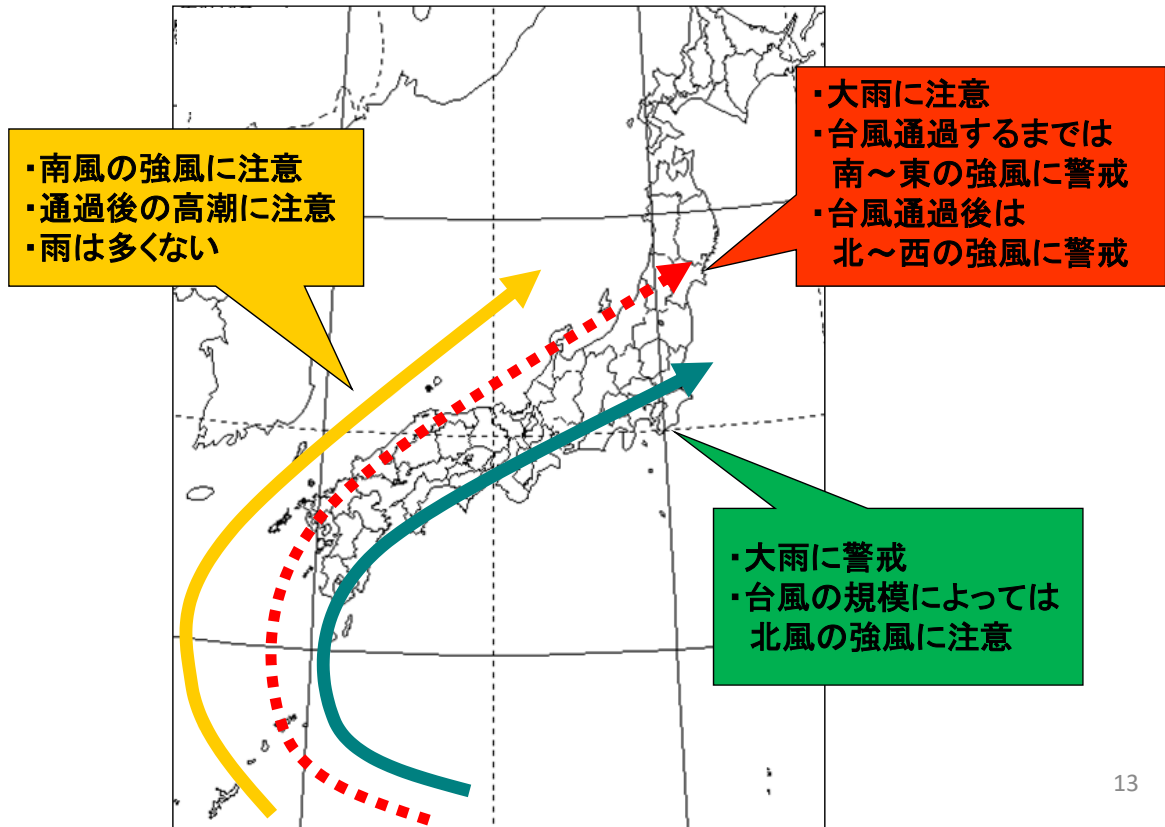
<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

11

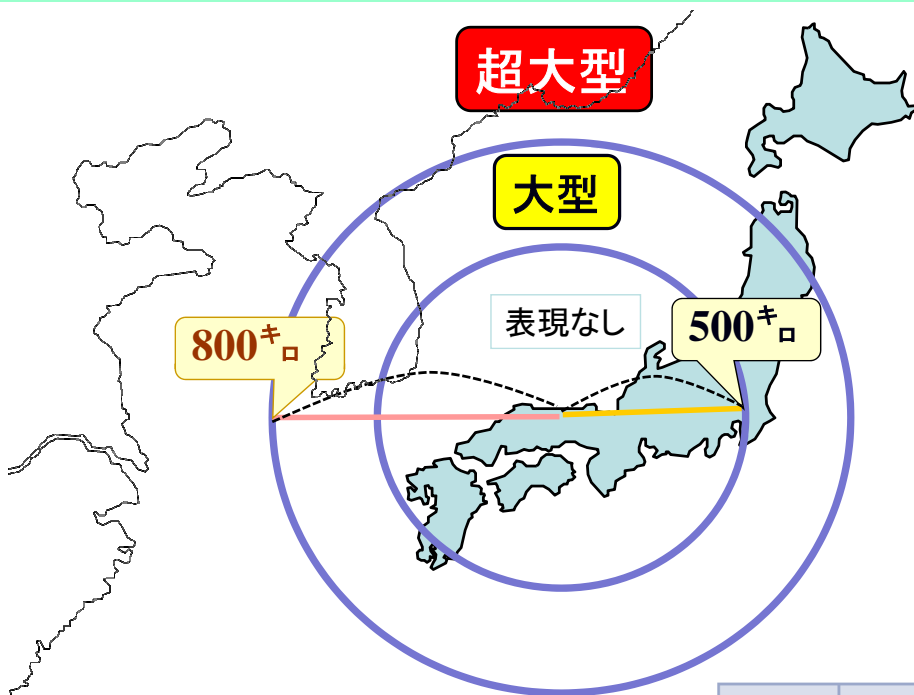
参考資料

12

台風の前路別による鳥取県への影響



台風の前さと強さについて



前さの階級分け

階級	風速15m/s以上の半径
大型(大きい)	500km以上～800km未満
超大型(非常に大きい)	800km以上

強さの階級分け

階級	最大風速
強い	33m/s(64ノット)以上～44m/s(85ノット)未満
非常に強い	44m/s(85ノット)以上～54m/s(105ノット)未満
猛烈な	54m/s(105ノット)以上

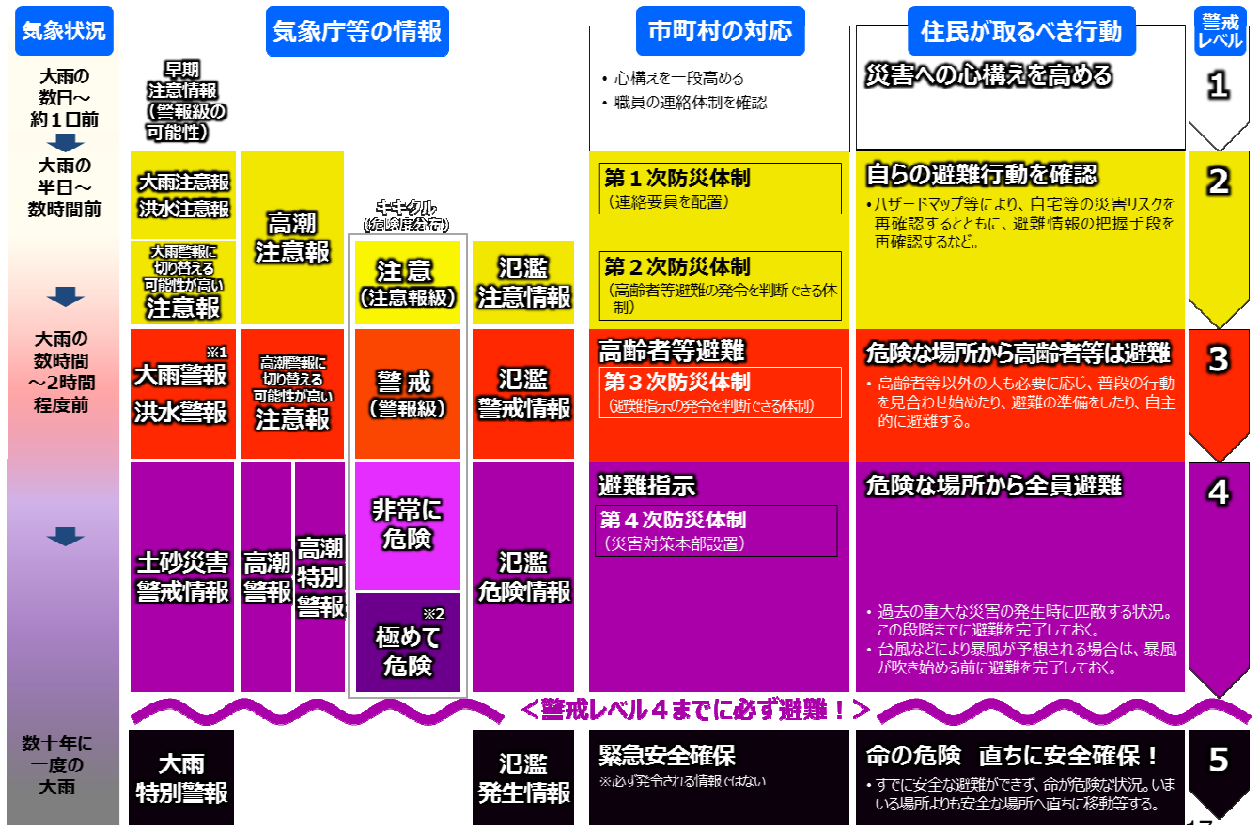
風の強さと吹き方

風の強さ (予報用語)	平均風速 (m/s)	およその 時速	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	およその 瞬間風速 (m/s)
やや強い風	10以上 15未満	~50km	一般道路 の自動車	風に向かって歩きにくくなる。 傘がさせない。	樹木全体が揺れ始める。 電線が揺れ始める。	道路の吹流しの角度が水平に なり、高速運転中では横風に 流される感覚を受ける。	樋(とい)が揺れ始める。	20
強い風	15以上 20未満	~70km		風に向かって歩けなくなり、 転倒する人も出る。 高所での作業はさわめて危険。	電線が鳴り始める。 看板やトタン板が外れ始め る。	高速運転中では、横風に流さ れる感覚が大きくなる。	屋根瓦・屋根葺材がはがれるもの がある。 雨戸やシャッターが揺れる。	
非常に強い風	20以上 25未満	~90km	高速道路 の自動車	何かにつかまっていなくて 立ってられない。 飛来物によって負傷するおそ れがある。	細い木の幹が折れたり、根 の張っていない木が倒れ始 める。 看板が落下・飛散する。 道路標識が傾く。	通常で速度で運転するのが 困難になる。	屋根瓦・屋根葺材が飛散するもの がある。 固定されていないプレハブ小屋が移 動、転倒する。 ビニールハウスのフィルム(被覆材) が広範囲に破れる。	40
	25以上 30未満	~110km						
猛烈な風	30以上 35未満	~125km	特急電車	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れる。 電柱や街灯で倒れるもの がある。 ブロック壁で倒壊するもの がある。	走行中のトラックが横転する。	固定の不十分な金属屋根の葺材が めくれる。 養生の不十分な仮設足場が崩落する。	50
	35以上 40未満	~140km					外装材が広範囲にわたって飛散し、 下地材が露出するものがある。	
	40以上	140km~					住家で倒壊するものがある。 鉄骨構造物で変形するものがある。	

雨の強さと降り方

1時間雨量 (mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10以上~ 20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳 ね返りで足元 がぬれる	雨の音で話し声が 良く聞き取れない	地面一面に水たまり ができる	
20以上~ 30未満	強い雨	どしゃ降り				ワイパーを速くしても見づらい
30以上~ 50未満	激しい雨	バケツをひっくり返し たように降る	傘をさしてい てもぬれる	寝ている人の半数く らいが雨に気がつく	道路が川のように なる	高速走行時、車輪と路面の間 に水膜が生じブレーキが効か なくなる(ハイドロブレーキング 現象)
50以上~ 80未満	非常に 激しい雨	滝のように降る(ゴー ゴーと降り続く)			水しぶぎであたり 一面が白っぽくなる 、視界が悪くなる	車の運転は危険
80以上~	猛烈な雨	息苦しくなるような圧 迫感がある。恐怖を 感ずる	傘は全く役に 立たなくなる			

危険度の高まりに応じて段階的に発表する防災気象情報



「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

高波・高潮による災害への備え

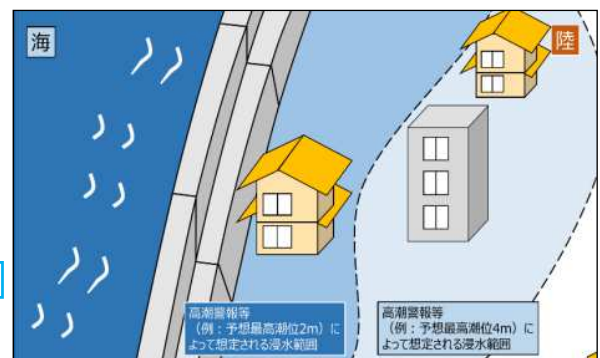
鳥取地方気象台
Tottori Local Meteorological Office

- 台風の接近に伴い、沿岸では命に危険を及ぼすような高波や高潮のおそれがあります。特に、高潮で潮位が高くなっている時は、普段は波が来ないようなところまで波が押し寄せる事があります。むやみに海岸には近づかないでください。
- 高波や高潮に警戒が必要なタイミングは、市町村毎に発表される警報・注意報で確認することができます。
- 暴風が実際に吹き始めてからは、屋外での行動は命に危険が及ぶため、特に高潮時に浸水のおそれがある区域では、**風雨が強まる前のタイミングで対応をとることが重要です。**

波浪・高潮注意報等で今後の推移について確認

〇〇市	発表中の警報・注意報等の種別	今後の推移(■警報級 □注意報級)										備考・関連する現象					
		3-6	6-9	9-12	12-15	15-18	18-21	21-24	0-3	3-6							
大雨	1時間最大雨量(ミリ) (浸水害) (土砂災害)	0															
暴風	風向風速(米和) 陸上 海上	12	14	20	25	25	18	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
波浪	波高(メートル)	1.5	2	3	4	4	2.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
高潮	潮位(メートル)	0.4	0.4	0.8	2.8	2.8	2.2	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
雷																	

高潮時に浸水のおそれがある区域



高波や高潮による災害の事例



今回の台風を迎えるにあたって(1)

- 8月8日夕方から9日にかけて、台風第9号が接近する見込みです。
- 大雨、強風、高潮に対する準備をしておきましょう。
- 特に、今年は7月7日からの大雨で大きな被害が発生しました。大雨の教訓を踏まえ、以下の備えをしておきましょう。

- 最新の気象情報や市町村からの避難情報等に留意し、いざという時に速やかに行動できるように準備しておきましょう。
- 避難所やハザードマップを確認し、避難行動への備えをしておきましょう。
- これまでの大雨で、裏山などの溪流や山腹斜面に崩壊土砂が堆積している恐れがあります。点検と備えをしておきましょう。
- 大雨で雨水が溢れないよう、側溝や水路の掃除などをしておきましょう。
- 強風による飛散、転倒、飛来物による破損への備えをしておきましょう。
- 市町村等におかれては、先の大雨では土のう袋や土のう用の砂の不足がありましたので、準備をお願いします。また、タイムラインなどを活用し、先行的な準備と対処をお願いします。

19

今回の台風を迎えるにあたって(2)

○今回の台風は、夜間に天候が悪化することが見込まれます。

【県民の皆様へ】

- ・明るいうちに備えや避難の準備をしてください。

【市町村の皆様へ】

- ・夜間の状況を予測して、早めに避難情報の発出や避難所の準備等を行ってください。

※夜間に避難情報を出す場合は、垂直避難など立ち退き避難に限らないことを併せて知らせてください

20

2 市町村・県民への注意喚起等 (1)市町村への依頼事項(その1)

■市町村における対応の徹底

誰ひとり逃げ遅れることなく安全に避難する意識を住民一人ひとりが持つよう、以下の点などを改めて住民に周知してください。

- ・ 早め早めに安全な場所に避難すること（自主避難含む）
- ・ 避難情報が「警戒レベル3 高齢者等避難」、「警戒レベル4 避難指示」、「警戒レベル5 緊急安全確保」に変更されたこと
- ・ 「警戒レベル4 避難指示」で、危険な場所から全員避難すること
- ・ 防災・気象情報をこまめにチェックすること など

避難情報の発信については、従来どおり、次の点にも留意してください。

- ・ 早期の発出
- ・ 様々な手段を用いて、確実に住民へ伝達
- ・ 夜間の状況を予測して、早め早めに発出を判断
※状況が急変した場合には、夜間でも避難情報の発出は必要

21

2 市町村・県民への注意喚起等 (1)市町村への依頼事項(その2)

<浸水リスクが高い地域の対策>

過去に浸水被害があった地域など、対策の再確認をお願いします。

- ・ 詰まりやすい用水路の点検や清掃
- ・ 水位計や監視カメラがない中小河川の状況を収集する体制、連絡系統の確認
- ・ 必要に応じて排水ポンプ車の要請 など

<土砂災害リスクが高い地域の対策>

過去に土砂災害被害があった地域など、対策の再確認をお願いします。

- ・ 土砂災害警戒区域及び危険度分布の確認 など

<避難情報の判断にあたっての情報収集>

必要に応じて県関係課へ助言を求めてください。

<初動体制の速やかな確立>

気象情報の収集伝達、職員参集体制の確認等

<迅速な避難体制の確立>

避難指示等の発令基準や消防団等への連絡手段の確認、ハザードマップの活用等

<避難行動要支援者等の支援対策の強化>

該当施設等への情報伝達体制、避難誘導上の配慮等の確認等

<被害規模の早期把握と迅速な報告>

災害救助法の適用などの判断に必要となりますので、住家被害などの迅速な報告をお願いします。

22

2 市町村・県民への注意喚起等

(1) 市町村への依頼事項(その3)

○避難所における新型コロナウイルス等感染症への対応について (詳細は県避難所運営マニュアル作成指針を確認)

〔主な事項〕

<可能な限り多くの避難所を開設>

通常の自然災害発生時よりも可能な限り多くの避難所の開設を図り、避難者の密度が高まらないよう配慮。また、利用可能なホテルや旅館等の活用等も検討。

<避難者の健康状態の確認>

避難者が避難所へ到着した時に体調不良者を早期発見できるよう、検温など可能な限りの健康チェックを行い、健康状態を把握。

<頻繁な手洗い、咳エチケット等基本的な衛生対策の徹底>

避難者及び避難所運営スタッフの、基本的な衛生対策の徹底。

<避難所内での十分な換気の実施、避難者同士の十分な間隔を確保>

必要に応じて、段ボール間仕切りや段ボールベッドを活用。

※避難所における新型コロナウイルス感染症への対応として実施するマスク、消毒液、段ボールベッドの物資等の備蓄に要する費用は県補助金等の活用が可能。

※ホテル・旅館等の民間施設借上げ、避難所の設置、維持及び管理に要する費用については、国の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用が可能。

<体調不良者への対応>

発熱等の体調不良者への対応のため、別室（例：学校における別教室）の確保。

<在宅避難者の把握に努めること>

23

2 市町村・県民への注意喚起等

(2) 県民への注意喚起等(その1)

- 市町村は防災行政無線等、県はホームページやあんしんトリピーメール、あんしんトリピーなび等を活用して県民の皆さまに警戒するよう注意喚起するとともに、県のホームページで公共交通機関の運行情報等を随時更新します。
- 県民の皆さまにあっては、最新の気象情報を確認するとともに、身の危険を感じたり、市町村からの避難指示等があった場合は、あわてず速やかに危険な場所から避難してください。

ホームページ「とりネット」

The screenshot shows the 'とりネット' website with a navigation bar at the top. The main content area is titled '災害情報 (Disaster information)' and features a red header. Below the header, there are two bullet points: '台風第19号に関する情報 (Information of the typhoon No.19 "Hagibis")' and '道路・公共交通機関への影響 (Impact on roads and public transportation)'. A sidebar on the left contains various links like '知事のページ' and '県議会'.

「あんしんトリピーメール」

スマホや携帯電話等に
気象情報や防災情報等
を配信



アプリ「あんしんトリピーなび」

鳥取県が提供する無料の総合防災アプリ

○iPhone用QRコード

○Android用QRコード



24

2 市町村・県民への注意喚起等 (2) 県民への注意喚起等(その2)

○避難における新型コロナウイルス等感染症への対応について

感染力の強いデルタ株の感染が全国で急拡大し、本県においても県内全域に拡大しています。避難所での感染予防のレベルアップをお願いします。

<避難する前に・・・>

- (1) ご自身の体調を確認しましょう。避難する途中で体調がすぐれなくなった場合には、避難所の受付で相談しましょう。
- (2) 安全が確保できる場合は、自宅での待機や、近隣の親せきや知人宅への避難（分散避難）も選択肢の一つです。お住いの地域が危険かどうかハザードマップもしっかり確認して、自分の避難先を決めましょう。
- (3) マスク・体温計を持参しましょう。感染予防につながる消毒液等も可能な限り持参しましょう。

<避難した後は・・・>

- (1) 避難所で生活するときは、必要に応じてマスクの着用、手洗い、咳エチケットなどをしっかり行ってください。
- (2) ほかの避難者と十分な距離をとるようにしましょう。（概ね2m）
- (3) 十分な換気を行うよう心がけましょう。
- (4) 避難生活をする中で、発熱や咳などの症状がある場合には、すぐに避難所の担当者に報告してください。

25

2 市町村・県民への注意喚起等 (2) 県民への注意喚起等(その3)

○ハザードマップ等の再確認について

過去の災害では、ハザードマップの浸水想定区域と実際の浸水域、土砂災害警戒区域と土砂災害の発生個所が重なっている事例があります。平時から市町村が作成した「ハザードマップ」や県の「とっとりWebマップ」等で、ご自宅や近隣のハザード（土砂災害、洪水など）を確認しておいてください。



26

3 警戒・即応体制の確保 (1) 県の体制

暴風域の本県通過が想定されるため、通常よりも早く体制を引き上げて対応する。

◆現時点から「注意体制」とする。

- ・ 引き続き本県への影響について警戒・監視を行う。
- ・ また、県民等への注意喚起、情報発信を行う。

◆9日朝(8:30)から「警戒体制(1)」に移行

※ なお、特異事例があった場合には、早めに体制を引き上げる場合がある。

27

3 警戒・即応体制の確保 (1) 県の対応

公共土木施設の対応

1 7月豪雨被災箇所への対応

- ・ 今年初上陸の台風による大雨や強風に十分に備え、前回豪雨による道路・河川・砂防関係の被災箇所について、重点的に応急工事を実施している。
- ・ 注意報・警報が発表された場合は、被災箇所のパトロールを重点的に行う。

(1) 盛土等の危険性を調査する緊急点検

- ・ 熱海市の土石流災害を踏まえ、土石流に係る土砂災害警戒区域の上流域の溪流に盛土した223箇所、及び、民家等の保全対象がある裏山等102箇所について、点検を実施中。
- ・ 点検の結果、盛土に変状等が認められた場合は、応急対策を講じる。

(2) 砂防堰堤の緊急点検

- ・ 前回豪雨により砂防堰堤堆砂敷が満砂に近い状況が発生しており、連続雨量400ミリを観測した地域にある砂防堰堤32基について、8月上旬に緊急点検を実施する。
- ・ 緊急性の高いものは、今後の台風等に備え、早急に土砂撤去を実施する。

(3) 土のう等の資機材の補充

- ・ 前回豪雨で使用した土のう袋やブルーシート等の資機材は補充済。

公共土木施設の対応

2 河川・ダム・砂防

(1) 県内河川等の確実な排水機場の稼働及び適切な樋門操作

- ・排水機場が確実に稼働するよう、事前点検を実施済。
- ・樋門等の適切な操作及び住民避難等に関する情報の発信・伝達、点検、体制強化を図っている。
- ・河川パトロールによる水位情報の把握や排水ポンプ車の支援体制の確認を徹底している。
- ・現在大潮であるため、特に高潮には注視し、河川及び湖沼の適切な樋門操作を徹底している。
- ・清水川の対策として、大雨警報発令に合わせ、排水ポンプ車も出動させ、早めに急激な河川水位上昇に備える体制を図ることとしている。

(2) ダムの管理

- ・治水ダムについては、洪水に備え、治水容量を確保している。
- ・なお、治水協定に基づき、県内すべての治水ダム・利水ダム双方とも、必要に応じて事前放流等を実施する。
- ・ダム放流の実施にあたっては、下流住民へ情報伝達を適時・的確に行う体制をとることを再確認している。
- ・気象状況・ダム水位等を注視しつつ、できる限り早期に関係市町村及び下流住民に放流予告を連絡周知する。

(3) 大呂地区地すべりの監視体制

- ・監視体制を強化するとともに、土砂崩落による河川の閉塞等に備え、北股川に排水管の設置と県道の迂回路を整備済。
- ・昨年4月に発生した土砂崩落について、斜面中腹に残っている土砂が、今後の雨で流出しないよう、現在、災害関連緊急地すべり事業による施設整備を進めている。
- ・前回の大雨により流出した土砂が、整備中の待受け擁壁の背後に堆積していたが、7月末に土砂撤去を行いポケット確保済み。

公共土木施設の対応

3 道路

(1) 鳥取西道路の事前通行規制(県土整備部、国土交通省)

- ・鳥取西道路(鳥取西IC～青谷IC)については、以下の何れかの条件で鳥取西IC～青谷IC間を一体的に事前通行止めすることとなっており、国土交通省と連携し、道路情報板や案内看板で迂回路(国道9号)へ誘導する体制を整えている。
 - ① 連続雨量100mm以上
 - ② 組合せ雨量 連続雨量90mmかつ時間雨量35mm
 - ③ 風速20m/秒以上(10分間平均)

県内自専道で最も厳しい基準

4 その他

(1) 大雨・強風時のパトロール体制等

- ・現在稼働している工事現場については、現場内の土砂流出や資材の固定状況などの現場点検を実施し、安全対策を徹底している。
- ・各所・局とも、大雨・強風時の状況変化(気象情報・県内での降雨状況等)に応じて管内の道路や河川等のパトロール体制や水防体制を整えている。

(2) (一社)鳥取県建設業協会と災害時応援協定に基づく対応

- ・災害発生時には、「災害時における応急対策業務等に関する基本協定書」に基づいて対応していただくよう、(一社)鳥取県建設業協会に事前に要請している。

農林水産関係への対応

1 農業関係

- 農作物等の管理について、各市町村、農協、農林局等を通じて生産者へ周知。(7/30、8/6)
[連絡内容] ①農作物の管理について(排水対策等)、②パイプハウスの強風対策について
[農作物の状況と現場の対応]

白ネギ	夏ネギは約6割出荷終了。排水対策や降雨前後の防除を指導。
梨	ハウス二十世紀は8月2日出荷開始。 枝を棚に固定し直し落果防止対策、排水対策や降雨後の防除を指導。
ブドウ	ピオーネ、巨峰は7月26日から出荷開始(デラウェアは終了)。 降雨後の排水対策や換気を指導。

2 農地・ため池関係

- 梅雨期及び台風期における防災態勢の強化について、各市町村、農林局へ依頼。(6/8、7/5、8/6)
- 7月豪雨で被災したため池については、低水位管理を実施中。
※防災重点ため池の緊急連絡体制は各市町において整備済。

3 林業関係

- 各林業関係組合に対して、土砂災害等の注意喚起など各組合員への安全対策・安全管理の徹底を依頼。(8/6)

4 水産関係

- 各漁業協同組合や水産関係団体向けに、注意喚起を実施。(8/6)